

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年2月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

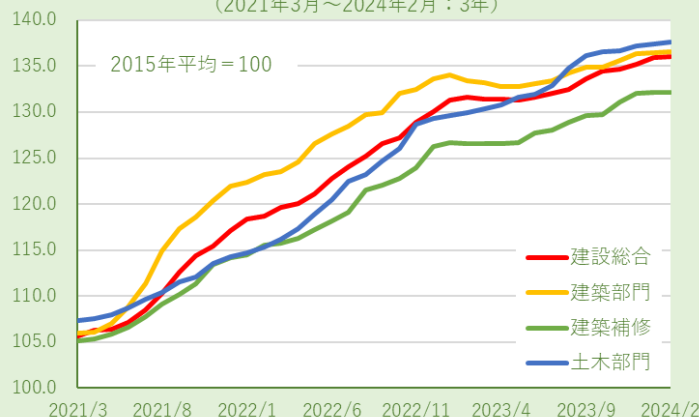
1. 指数の動向（全国平均）

2月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**（全国平均）が**136.2**となり、前月比+0.1ポイント(+0.1%)と**10カ月連続**で最高値を更新した。前年同月比では+4.7ポイント(+3.6%)となった。

部門別では、**建築部門**が**136.5**となり、前月比+0.1ポイント(+0.0%)と**10カ月連続**で最高値を更新した。前年同月比では+3.1ポイント(+2.3%)となった。**建築補修**が**132.2**となり、前月比-0.1ポイント(-0.0%)と**10カ月ぶり**の下落となった。前年同月比では+5.6ポイント(+4.4%)となった。**土木部門**が**137.6**となり、前月比+0.2ポイント(+0.1%)と**2020年5月以来45カ月連続**で最高値を更新した。前年同月比では+7.6ポイント(+5.9%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年3月～2024年2月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】 陶磁器

粘土等の原材料費や電力料金の値上げによる製造コストの転嫁が市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

【農産物】 樹木・芝

農薬・肥料等の原材料費や輸送コストの増加に伴う農産物の値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

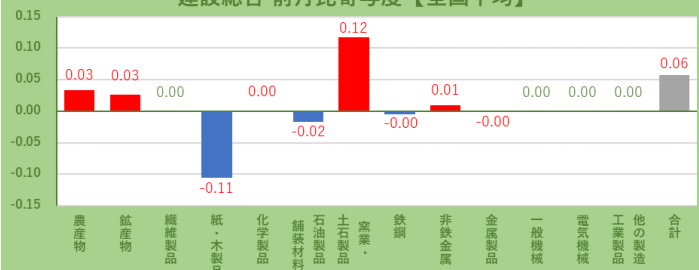
【紙・木製品】 合板類

全国的な需要の低迷から市場価格の安値競争が激化し、合板類の価格下落が、指数動向のマイナスに寄与

【石油製品・舗装材料】 軽油

原油調達コストの下落を背景に、元売りが仕切り価格を引き下げたことにより、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



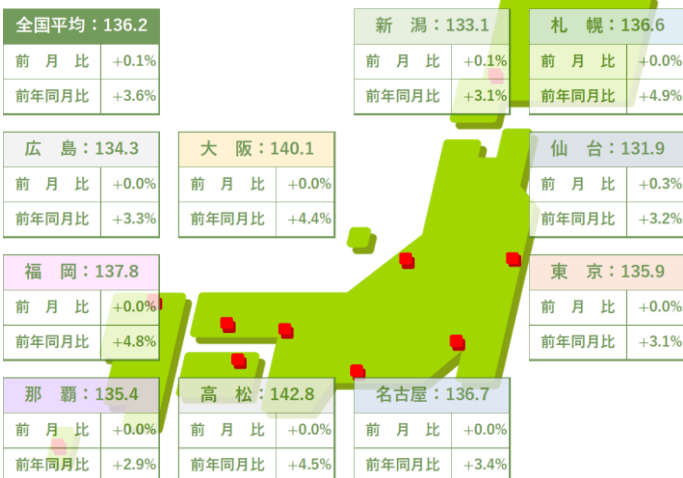
3. 都市別の動向（建設総合部門）

ウェイトの大きな合板や鋼管等の価格の下落が指数動向のマイナスに寄与したが、前月比+0.3%となった【仙台】では、全国的に値上がりした樹木や陶磁器、電線ケーブルの他に、原材料費や輸送コストの増加を反映したコンクリート二次製品等の値上がりが指数動向のプラスに寄与した。

また、同+0.1%となった【新潟】では、輸送コストの増加に伴う値上げが浸透した碎石類の価格の上伸が、プラスに寄与した。

同+0.0%となった【東京】では、輸送コストの増加による砂の価格の上伸がプラスに寄与したが、需要減少を背景とした受注競争の激化によるアスファルト混合物の価格の下落がマイナスに寄与し、それらが相殺し、横ばいでの推移となった。

各地の建設総合部門の指数【2月分】



一般財団法人

建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp